

# もも・ネクタリン特報 号外



JA中野市営農センター  
JA中野市りんご・もも部会

裏面には、防寒・凍害対策を記載しています。ご確認ください。

12月の文書配布にて、2022年度果実袋使用基準・注文書を別紙にて配布いたします。  
つきましては、使用基準を確認のうえ予約期間内に注文をして頂きたいようお願い申し上げます。

## 2022年度 もも・ネクタリン果実袋使用基準【変更のお知らせ】

【KMP】…1重袋（外側：灰色、内側：黒） もも全般に使用

【KM2】…1重袋（外側：黄土色、内側：黒） 黄肉品種（無着色栽培）に使用

※今までは2種類ありましたが、2022年度から【KM2】に1本化されます。



### 【参考】

もも	全品種 黄金桃など、黄肉品種 (無着色栽培)	1重袋	新聞黒 10切	遮光率 97.60%
			KM2 7切・8切	遮光率 99.80% 晩生種・黄金桃は主に7切。 早生品種は8切を使用。
	なつっこ 川中島白桃、黄金桃 極晩生種(9月収穫品種)など	2重袋	K-ピーチ 22号 TPL ミニ 12(I切) Y-ピーチ 22号 TPL ミニ 12(V切)	【品質向上 ロス軽減】 遮光2重袋、外袋のみ除袋。内袋は底なし。 降雨による、こうあ部(果柄周辺)の軟化軽減。
ネク	ファンタジア・晶光・フレーバー ートップ・サマークリスタル	ピーチ2号		防虫防雨1重袋
	秀峰・和手	ピーチ22号S-I		遮光2重袋、外袋のみ除袋。

## 1. 防寒・凍害対策 **若木（7年生程度まで）は、必ず防寒対策（ワラ巻き）を実施しましょう**

①ワラ巻き・・・ 巻く範囲は、地際部から地上80cm程度までの樹幹部。厚さは5cm以上で巻く

◎ワラ被覆時期：11月下旬～12月上旬      ワラ除去：3月下旬～4月

②塗布剤(フジホワイト)・・・地際部から地上80cm程度までの主幹部にハケ等で塗布する。

◎塗布時期      ：根雪前(乾きやすい天気の良い日に塗布する)

**樹幹部に塗布剤を塗布し、さらにワラ巻きを行なうと効果的です。**

③冬季せん定・・・ 凍害が心配される場合は、厳寒期(1～2月)に実施せず、3月に実施する。(特に7年生までの若木)

## 2. 雪害防止

積雪により枝折れ等が心配される園地では、あらかじめ添え支柱などを行ない、主幹・主枝を補強しておく。

## 3. 野鼠対策

- 1) 根元の草はきれいに取り除く。また、園の周囲も除草する。
- 2) 密度を減らす。パチンコ、一斉駆除やヤソジオン、ラテミンリン化亜鉛などにて複合的に。

## 4. 苗木の植付け方法とポイント

① 植え穴は苗木の根の2倍の大きさで、直径80～100cm、深さ50cm位掘り、土とユーキリン(1kg)、もみがらくん炭、エアープイント(完熟堆肥)を混ぜて埋め戻す。

\* ユーキリン(20kg：3,810円)、もみがらくん炭(1000：1,300円)、エアープイント(18kg：520円)

\* 化成肥料を施用する場合は、定植後とする。多量の施肥は根をいためる場合があるので注意する。

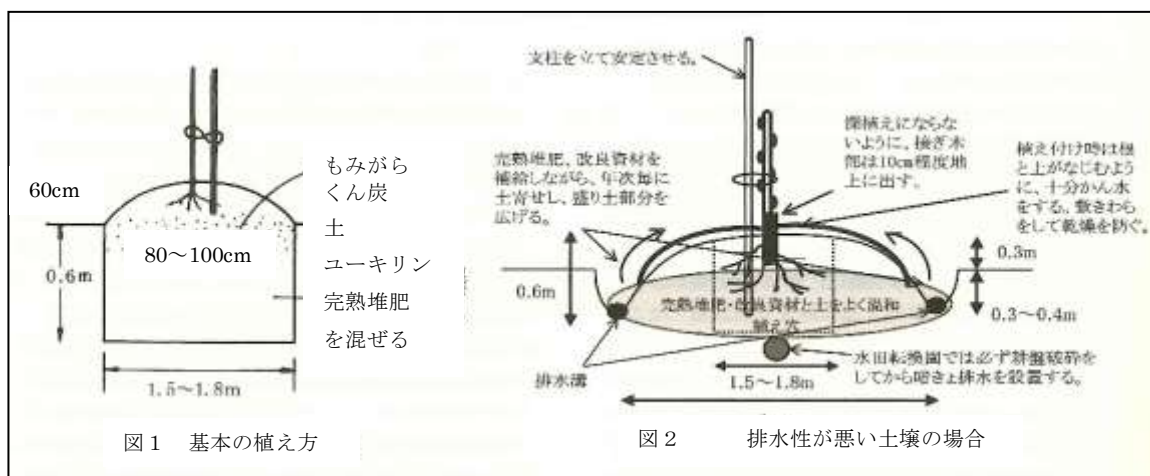
\* すぐに定植できない場合は、吸水させてから仮植しておく。

② 植え付け時は、根を放射状に広げ、各々の根に細土が密着するように丁寧に土をかける。太根の先端を剪定鋏で切っておくと、発根が良くなる。土をかけた後、苗木を軽く持ち上げるようにしながら足で軽く踏みつけて、たっぷりかん水を行なう。

③ 植え付けの深さは、接ぎ木部位が地面からわずかに出る程度とする。

④ 苗木は支柱を添えて固定し、揺れを防ぐ。

⑤ 苗木の剪定(切り戻し)は、春季(3月下旬～4月上旬)に行ない、地上部30～50cmの高さで充実した芽の上で切り戻す。



## 秋植えの場合

① 越冬対策(ワラ巻き等)は必ず実施する。

② 秋植えを行なう場合は、土壌と根の活着が良く春季の生育が良好となるが、凍害・雪害等の心配があるため、定植後は必ず防寒対策・冬囲い(ワラ巻き厚さ5cm以上等)を実施する。

## 春植えの場合

① 春植えの場合は、伏せ込みを行なう。

② 束ねてある苗木は必ずバラして、根部を土中の凍結部以下になるようにして伏せ、苗木の下部70cm位を土中に埋める。

③ 乾燥防止のため、細根部分は隙間がないよう丁寧に土をかぶせる。

④ 春植えの場合は特に土壌が乾燥しやすいので、雪が消えたら土壌が乾燥しないよう、植え穴に水をたっぷり入れて植付ける。